

2021 年度事業報告

1. はじめに

2021 年も協会活動のほとんどが新型コロナウイルス感染拡大への対応で追われました。通常総会も 2020 年度と同様限定された参加者による変則的な開催となりました。理事会、専門委員会、専門部、サークルの多くの活動も中止、あるいはオンラインの開催とせざるを得ませんでした。その中で、延期されていた役員選挙のための臨時総会が 10 月 3 日に開催され、理事 11 名、監事 2 名を選出して新たな役員体制が発足しました。

このように 2021 年度の協会は新旧役員の交代のなかでの活動となりましたが、2020 年度と同様に協会は聴覚障害者の社会参加の推進、福祉の向上を目指して、東京都福祉保健局との懇談会や都議会各政党との予算ヒアリングを通じて、東京都の新型コロナウイルスへの対策、要約筆記者派遣事業の拡充、中途失聴・難聴者のコミュニケーション学習の充実、バリアフリーなまちづくりなどを求めて活動しました。また、「耳マーク」の普及など聴覚障害者への理解を求める要望を東京都内の行政・事業者に対して行いました。これらの活動を実行できたことは、認定 NPO 法人としての協会に対する社会の一定の評価の表れであり、協会の社会的責任をより一層自覚させられた 1 年と言えます。

年が明けても新型コロナウイルス感染拡大は続いています。一方ではコロナと共存した活動の模索も社会の各方面で始まっています。以下、2021 年度の協会の活動を、「コロナ禍での協会」、「協会の対外活動」、「協会の対内活動と組織強化」に分けて記述することで、2021 年度事業報告の「はじめに」とさせていただきます。

2. コロナ禍での協会

新型コロナウイルス感染拡大に対して、協会は 2020 年 4 月の「東京都新型コロナウイルス感染症最新情報の動画字幕についての要望」以降、2022 年 2 月の「新型コロナウイルス感染対策に関する緊急要望」まで数度の声明・要望を発表して参りました。新型コロナウイルス感染症の影響は医療や情報アクセス分野など社会生活の様々な領域に広がっており、時間経過とともに新たな課題が現れていますが、2021 年度は感染拡大 2 年間の取り組みを踏まえてコロナと共存した協会活動の再構築を目指す 1 年となりました。

新型コロナウイルス感染対応に関しては、ワクチン接種と自宅療養が大きな問題となりました。ワクチン接種については、東京都各区市町村の中途失聴・難聴者の団体とともに、「ワクチン接種の予約は、電話だけでなく FAX、パソコン、スマートホンによる予約を可能にする」、「接種会場には『耳マーク』を設置し、行動に不安な中途失聴・難聴者に筆談・コミュニケーションボードによるサポートを行う」、「問診・経過観察にあたっては、筆談・コミュニケーションボードを活用して、ワクチン接種を受ける人の理解を確認する」などを東京都や区市町村に要望しました。また、自宅療養については「聞こえに不安を感じている一人暮らしの中途失聴・難聴者には、宿泊療養や自宅療養ではなく臨時的施設を含む医療施設への入院措置を取ること」を東京都に要望しました。

一方、コロナ禍での情報アクセス分野では、オンラインでの要約筆記利用が課題に直面しながら広がっていき 1 年であったと思われます。派遣事業体が出している「要約筆記者がオンライン上で通訳するにあたってのガイドライン」を利用者本位のものに見直すよう協会は要望を続けていますが、いまだに実現していません。その中で東京都に要望していた「東京都障害者福祉会館におけるインターネット環境整備についての要望」は実現を見て、2022 年 4 月以降の Wi-Fi 利用が可能となりました。

このように、新型コロナウイルス感染拡大に関する要望のすべてが実現している状況ではありませんが、私たちの上部団体である一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会(全難聴)、全国各地の中途失聴・難聴者団体、東京都各区市町村の中途失聴・難聴者の団体と協働して働きかけることで、社会理解が徐々に進んできていることを実感します。新型コロナウイルス感染への対応は、ワクチン接種の進展や治療薬の実用化の段階になっていますが、収束までまだまだ時間がかかると予想され、新型コロナウイルス感染拡大への緊張感を持った対応が 2022 年度も求められると考えています。

このような疫病・公衆衛生の問題に加えて、2021 年度も自然災害が頻発し、福島沖地震に関連して「電力需給ひっ迫警報」のような予期しないものも発令されました。そして、2 月にはロシアによるウクライナ侵攻が起きました。国連障害者権利条約のいう「危険な状況及び人道上の緊急事態」が私たちの毎日の生活

の現実になりつつあります。このような緊急事態の現実に協会としてどのように対応していくかの議論は不足しておりますが、会員の皆さまもご承知のように協会は 2021 年より緊急情報配信網の整備を進めており、2022 年 3 月には 1 回目の緊急情報の配信テストを行いました。緊急情報配信網の整備がどのように機能するか、今後理事会を中心に更に検証を深め、様々な緊急事態に対する会員の皆さまと協会との絆を確実にする方法を見出していきたいと考えます。

3. 協会の対外活動

2021 年度の協会の対外活動は、2020 年度同様東京都の要約筆記者派遣事業の拡充、コミュニケーション学習の充実を求める行動を中心に進められましたが、前述の新型コロナウイルスに対応したものが中心となりました。

東京都の意思疎通支援者派遣事業は「東京都聴覚障害者意思疎通支援事業（広域型行事への意思疎通支援者派遣）運営要綱」に従って実施されています。しかし、派遣目的の公益性・広域性の要件は依然として維持されており、障害者団体の利用が限定され、協会の理事会や専門部の役員会などが対象外となるなど協会活動を大きく制限する実態は変わりません。また、都道府県レベルの広域的な意思疎通支援事業としての位置づけは依然として不明確な状態が続いており、障害者総合支援法 3 年後見直しに関する社会保障審議会障害者部会の議論に対して全難聴を通じて意見を提出し、「意思疎通支援事業の各種支援メニューにおいて、支援が必要な者に対して十分なサービスが行き届いていないとの意見があることから、必要なサービスを受けることができるよう、現行制度の運用の見直しなどを検討する必要がある」という見直しの方向性が示されました。

コミュニケーション学習においては東京都主催の中途失聴・難聴者手話講習会（前期）が新型コロナウイルス感染拡大の影響で途中休講をはさみ 1 月に修了。（後期）は中止となりました。また、協会が自主事業として行っている手話講習会応用クラス（多摩）は中止とせざるを得ませんでした。

一方、数年来懸案となっている「耳マーク」普及活動については、東京都の一部交通機関で「耳マーク」掲示が実現しましたが、都庁・各区市町村施設での「耳マーク」の普及は依然として不十分な状況が続いています。「耳マーク」は聴覚障害への理解を求める、福祉のまちづくりを進める非常に大切なツールです。聞こえの環境整備・ヒアリンググループの普及を福祉のまちづくりの大きな動きにしていくために、「耳マーク」と「ヒアリンググループマーク」を一体とした普及活動を継続して参ります。

4. 協会の対内活動と組織強化

4.1 対内活動

2021 年度の「東京都中途失聴・難聴者の集い」は残念ながら新型コロナウイルス感染拡大で、中止とさせていただきます。また、毎年開催している「地域難聴者コミュニケーション啓発講座」、「高齢難聴者生きがい講座」も一部中止せざるを得ませんでした。協会が毎年実施するこれらの講座は、中途失聴・難聴者が交流・学習を重ねる「場」として着実に実績を積み上げています。2022 年度はこれら講座を万全な形で開催できるよう、鋭意開催準備を進めて参ります。

協会の組織面では、協会の 2021 年度末の正会員の数が前年比 37 人減の 502 人となりました。会員数の減少はここ数年継続する問題ですが、2020 年度に引き続き 2021 年度も新型コロナウイルス感染の影響が大きく、会員数が大幅に減少しました。会員の大幅減少は、協会の活動に人材の面でも財政の面でも深刻な課題をもたらしています。2022 年度の理事会で、協会の最重要課題として議論して参ります。

また、冒頭に説明しましたように協会は 10 月に役員改選を行い、年度途中での新役員体制の発足となりましたので、年が明けて 2 回の役員研修を実施し協会活動に対する役員の理解の統一を図りました。新役員体制での専門委員会・専門部の活動については、年齢階層別専門部の一つである「青年部」が活動メンバーの減少のため 2020 年度で活動を休止し、2021 年度は 4 つの専門委員会、8 つの専門部での活動となりました。その詳細は各専門委員会、専門部の報告を参照ください。新型コロナウイルス感染拡大で多くの障害者団体は組織形態の見直しを迫られております。協会も専門委員会・専門部のあり方を継続して見直し、コロナと共存した協会活動のより一層の充実を図っていききたいと考えます。

4.2 協会財政

決算報告にある通り、2021年度は988千円の黒字決算となりました。改めて会員の皆さまのご支援に感謝いたします。しかしながら、2021年度の決算結果においても、協会財政安定のために「変動費(事業費)は事業収入や補助金収入・助成金収入を充当することを原則とし、固定費は会費収入、寄付金収入、雑収入を充当する」必要性は変わっていないと考えております。特に、会費収入の増加の問題は、協会活動全般に係わる課題であり、2022年度も継続的に検討していきたいと考えます。

5. まとめ

冒頭記述しましたように、2021年度も協会は新型コロナウイルス感染対応に追われました。そのため、会員の皆さまと対面で交流する機会がほとんどなくなり、協会の存在意義を問われる状態が続いております。中途失聴・難聴者の当事者団体として、対面での交流が制限される中で、どのように集まり・交流を維持していくか、その回答はまだまだ見出せません。理事会や専門部の役員会ではオンラインでの会議実績を積み上げていますが、一方では対面でなくてはできない多くのことを失っています。

新型コロナウイルス感染拡大の収束には長い時間が予想されます。また、前述しましたように自然災害や人道上の緊急事態が、会員の皆さまの毎日の生活や協会の活動に様々な影響を与えることも予想されます。このような状況への対応には、会員の皆さま、役員一同力を合わせる事が何より大切と考えます。様々な課題を抱えた協会ですが、2022年度の協会への会員の皆さまのご支援を改めてお願いして、事業報告の「まとめ」といたします。

2021 年度事業報告(一覧)
(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

1. 特定非営利活動に関わる事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	延べ人数
中途失聴者、難聴者の社会参加のための調査・研究、施策のための提案事業	人工内耳に関する講座	実施せず		0
	福祉対策・コミュニケーション関連部活動	月 1 回程度	東京都障害者福祉会館 他	428
中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの充実のための社会教育事業	聴覚障害者コミュニケーション教室	年 6 回	東京都障害者福祉会館及びオンライン配信	291
	実践読話講習会	年 17 回	東京都障害者福祉会館	146
	地域コミュニケーション啓発講座	年 2 回	東京都障害者福祉会館 他	76
	地域福祉相談支援ゼミ(手話講習会応用クラス三田)	年 22 回	東京都障害者福祉会館	606
	手話講習会応用クラス多摩	年 20 回(中止)	多摩障害者スポーツセンター 他	20
	例会	年 3 回	東京都障害者福祉会館 他	235
	高齢者対象「手を動かそう」	年 7 回	東京都障害者福祉会館	85
講師等派遣		横浜市障害者社会参参加センター・国立障害者リハビリテーションセンター学院・東村山市社会福祉協議会	17	
中途失聴者、難聴者の諸問題の解決のための情報収集、提供事業及び他団体との連絡調整	会報「協会ニュース」発行	月 1 回	当会事務所 他	127
	ホームページ運営	随時更新	当会事務所 他	36
	刊行物・耳マーク仕入れ	随時	当会事務所	10
	第 34 回東京都中途失聴・難聴者の集い	実施せず		0
中途失聴者、難聴者にかかわる相談、支援事業	高齢難聴者生きがい講座	年 12 回	東京都障害者福祉会館	49
	中途失聴者・難聴者相談事業	随時	当会事務所	26
	中途失聴者・難聴者地域支援事業	随時	東京都障害者福祉会館 他	131
中途失聴者、難聴者の文化・芸術、スポーツの振興を図る事業	文化系活動	月 1～2 回	東京都障害者福祉会館 他	861

2. その他の事業

自動販売機による委託販売(7 か所 8 台)

東京都庁第一本庁舎 6 階南側→(1/7 より)4 階南側・東京都江戸博物館・東京都第五建設事務所・東京都七生福祉園・東京しごと財団(2 台)1 階→(3/23 より)10 階・東京都多摩職業能力開発センター八王子校・東京都西多摩保健所

2021 年度事業報告

事務局

1. 体制

事務局長: 宇田川芳江 職員: 石川千鶴(6月より)・石田豊子・千羽荘一・松枝朋美

2. 活動報告

- ・理事会 4/24*、5/22*、6/26*、7/24*、8/28*、9/25*、10/3、10/23*、11/27、12/25、1/22*、2/26*、3/26 *印は、オンライン開催
- ・東京都福祉保健局との懇談会 7/1 (13名)
- ・人工内耳に関する講座 実施せず
- ・「字幕付胃検診」受付 9/4(19名)
- ・高齢者対象「手を動かそう」 4/12(15名)、10/11(12名)、11/8(14名)、12/13(18名)、1/10(10名)、2/14(6名)、3/14(10名) 5~9月(中止)
- ・協会ニュース発送 毎月第2金曜日 12回(会員有志の協力なし)
- ・「TOKYOみみカレッジ」参加 配信期間 2/13~3/13 「難聴あるある座談会」
- ・事務局会議 4/19、5/17、6/21、7/19、8/16(中止)、9/13(中止)、10/18、11/29、12/20、1/24、2/21、3/14
- ・例会 毎月第4日曜日 9回

実施日	内容	参加者数
4月25日	2021年度事業説明会	中止
5月23日	通常総会	373 (出席 24)
7月25日	「きこえない」こと、そして「わたしらしく生きる」こと	中止
9月26日	要約筆記～話し言葉を書き言葉にする通訳とは～	オンライン 85
10月3日	臨時総会	398 (出席 34)
10月24日	新入会員説明会&交流会	ハイブリッド 12
12月26日	お話とマルシェの部屋	21
1月23日	KIKI(聞き/機器)展	オンライン 29
3月27日	手話で楽しくコミュニケーション	30

事業委員会

1. 体制

委員長: 新谷友良 副委員長: 小笠原晶子 委員: 宇田川芳江・大江千枝・丸山由美子
10月より

委員長: 小川光彦 委員: 稲井泰子・大江千枝・小笠原晶子・丸山由美子 オブザーバー: 新谷友良
事務局: 宇田川芳江

2. 活動報告

委員会開催 4/21*、6/30*、9/15*、10/13*、11/23*、12/9、1/13*、3/10* *印はオンライン開催

3. 事業報告

I 助成事業

(1) 東京都福祉保健財団助成事業

- ① 実践読話講習会
- ② 高齢難聴者生きがい講座
- ③ 地域福祉相談ゼミ〔手話講習会応用クラス三田〕
- ④ 地域コミュニケーション啓発講座(運営担当: 組織部)

II 協会委託事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

- (1) 聴覚障害者コミュニケーション教室(東京都教育委員会委託事業)

Ⅲ 協会事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

(1)手話講習会応用クラス多摩

→面接は実施したが、その後新型コロナウイルス感染拡大や会場確保が困難になり中止した。

Ⅳ 各種講習会・講座への講師・スタッフ派遣の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

(1)東京都中途失聴・難聴者手話講習会(三田・多摩)

(2)東京都読話講習会

(3)東京都手話通訳等養成講習会(中途失聴・難聴者対象手話指導者養成コース)

(4)講師派遣事業

①国立障害者リハビリテーションセンター学院(9/7、9/21、10/5、10/19、11/2)

②横浜市障害者社会参加センター(11/24)

③東京高等裁判所要配慮者接遇研修(12/23)

④東村山市社会福祉協議会(1/13、1/20)

■ 広報委員会

NPO 法人にふさわしい広報活動に向け、協会の広報媒体を見直し、刷新に努めた。

1. 体制

委員長:新谷友良 副委員長:小島敦子 委員:石川千鶴・宇田川芳江・村田美和・山内菜央子

オブザーバー:皆川みさ子

10月より

委員長:小島敦子 委員:石川千鶴・村田美和・山内菜央子(2月辞任) オブザーバー:新谷友良・皆川みさ子

事務局:宇田川芳江

2. 活動報告

(1)委員会開催

4/8、5/13、6/10、7/8、8/12、9/23、10/14、11/11、12/9、1/13、2/10(メール会議)、3/10

全12回(2月以外はオンライン)

(2)協会ホームページについて、QRコードを使った申込みやアンケートフォームを作成するなど、使いやすく、事務効率が上がるよう工夫をした。さらに検討を重ねている。

(3)会報「協会ニュース」について、会報編集部と内容・編集作業の向上に努めた。また、新企画などで紙面の充実を図った。

■ 防災委員会

1. 体制

委員長:小川光彦 副委員長:木村昭夫 委員:小谷野依久・松之木礼毅

10月より

委員長:新谷友良 委員:有馬富江・生田真弓・前川信・南由美子(3月26日辞任)・米倉光代

2. 活動概要

協会定款第4条「災害救援活動」、第5条「緊急・災害時における聴覚障害者の救助・救援に関する事業」の具体化の活動を行った。

3. 活動詳細

10月に防災委員の交代があったので、委員会の議論を通じて新委員による協会の防災活動の点検を行った。

4. 活動報告

(1)委員会開催 11/10(水)、12/22(水)、1/26(水)、2/23(水)

いずれもオンラインで開催。3月委員会は、メールでの意見交換とした。

(2)防災・公衆衛生関係の学習・広報活動

①東京都災害時要配慮者対策関連指針の改訂に伴う意見提出

②会報「協会ニュース」への『防災委員会』記事の掲載

③緊急情報(防災・公衆衛生関係)の配信網整備とテスト配信の実施

④協会ホームページでの防災関係情報の発信(広報委員会との連携)

コミュニケーション委員会

1. 体制

委員長:皆川みさ子 副委員長:山内菜央子 会計:小谷野依久 委員:坂山己世・安井彩乃・渡辺江美

2. 活動報告

(1)委員会開催 4/15、5/19、6/16、7/21、9/15、10/20、11/17、12/15、2/16、3/16

(2)Zoom活用基礎講座開催 11/28

2020年度実施したアンケートから見えた課題に対応して、オンラインアクセス支援を目的に、専門部・文化部サークル対象の講座を開催した。

(3)難聴者のコミュニケーション全般について話し合った。

(4)協会ニュース特別号への協力。

2020年度実施したアンケートから見えた課題に対応しての企画。

(5)オンラインによる情報保障・配信についての検討グループへの協力。

(6)読話講師養成講習会開催に向けて企画検討。

要約筆記部

1. 体制

部長:渡辺江美 会計:小谷野依久 部員:村田美和

2. 活動報告

実施日	内容	場所	参加者数
4月7日	部会	オンライン(Zoom)	3
5月12日	部会	オンライン(Zoom)	3
6月15日	部会	オンライン(Zoom)	3
7月8日	部会	オンライン(Zoom)	3
8月11日	部会	オンライン(Zoom)	3
9月8日	部会	オンライン(Zoom)	3
9月26日	協会例会担当	東京都障害者福祉会館とオンラインのハイブリッド開催	85
11月9日	部会	オンライン(Zoom)	3
12月7日	部会	オンライン(Zoom)	3
1月13日	部会	オンライン(Zoom)	3
2月8日	部会	オンライン(Zoom)	3
3月9日	登要会との交流会	東京都障害者福祉会館	34
3月9日	部会	東京都障害者福祉会館	3
3月17日	交流会の反省会	東京都障害者福祉会館	3

福祉対策部

1. 体制

部長:南由美子 副部長・会計:小谷野依久 部員:青木典子・小海淳史・鈴木雅弘・橋爪由利・宮本忠司
オブザーバー:小川光彦

2. 活動報告

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月16日*	部会	5	10月19日*	部会	6
4月29日*	部内勉強会「補聴器と無線」	30	10月28日*	部内勉強会「補聴器世界さんぽ」	34
5月21日*	部内勉強会「自治体への要望」	21	10月28日*	部会	6

5月21日*	部会	6	11月5日	部内勉強会「オーティコンコンサート」	4
6月10日*	部内勉強会「UDトークNO1」	33	11月16日	部会	4
6月17日*	部内勉強会「UDトークNO2」	61	11月19日*	部会	6
6月18日*	部会	6	11月19日*	部内勉強会「小説「デフ・ヴォイス」の舞台裏」	45
6月30日*	部会	5	11月22日	部会、打合せ、透明ディスプレイモニター会	10
7月18日*	講師打合せ	2	12月8日*	サポーター座談会	10
7月22日*	部会	5	12月8日*	部会	6
7月27日*	部会	5	12月21日*	部内勉強会「働き世代の難聴者のために何が出来るか」	14
7月28日*	部内勉強会「いい音とろうNO1」	44	1月10日*	部会、1月例会打合せ	5
8月21日*	部内勉強会「パブリックコメント」	40	1月22日	協会例会「KIKI展」打合せ	2
8月21日*	部内勉強会「助成金勉強会」	6	1月23日*	協会例会担当「KIKI展」	60
8月24日*	部内勉強会「いい音とろうNO2」	40	1月23日	1/30講演会打合せ	6
8月31日	部会	2	1月30日*	合同企画	40
9月18日*	部会	6	2月6日*	部内勉強会「ハラスメント」	40
9月19日*	サポーター座談会	14	2月6日*	部会、座談会	15
9月25日*	セミナー・協力	42	3月6日	難聴女性の複合差別についての意見交換会	8
			3月14日*	部会	7

*印はオンラインもしくはハイブリッド開催

手話対策部

1. 体制

部長：坂山己世 副部長：石川千鶴・和田すが 会計：国吉玲子

部員：芦川君代・池田ひろみ・井桁洋子・内山伸子・掛水泉・河合優子・河原日向子・神尾優子・菊池直美・北島恵子・小貫孝・佐々木百合子・地引千恵子・杉本陽子・鈴木泰子・長沼知子・中村麻子・中村みずほ・原島美江・丸山利江・森利恵子・屋代智子・吉田桂子 27名

2. 活動報告 場所：東京都障害者福祉会館 他

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月12日	部会	中止	10月18日	部会	17
5月10日	部会	中止	10月31日	宮田和美氏講演会	39
5月24日*	役員会議	4	11月8日	部内研修 三宅初穂氏オンデマンド	28
6月13日	パソコン勉強会	8	11月8日	役員会議	4
6月14日*	部会	18	12月12日	パソコン勉強会	中止
7月4日	スタッフ会議	14	12月13日	部会	16
7月12日*	部会	17	1月17日	部会	中止
8月16日	部会	中止	2月13日	パソコン勉強会	中止
8月29日	パソコン勉強会	中止	2月14日	部会	中止
9月10日*	役員会議	4	3月1日	わくわく手話講座	中止
9月13日*	部会	13	3月14日	部会	中止
10月10日*	パソコン勉強会	10	3月27日	協会例会担当	30

*印はオンライン開催

会報編集部

1. 体制

部長: 小島敦子 会計: 山田恵美子 部員: 入江友紀子・岩崎幣介・堀川すみれ・橋爪由利

2. 活動報告

(1) 会報「協会ニュース」の編集

①編集会議 頁構成、投稿原稿校正、作業スケジュール、特集などの確認、企画についての話し合い。

・メール会議 4/14、5/12、8/5、12/8、2/11、3/9 全6回

・オンライン会議 6/12、7/10、9/11、10/9、11/6、1/10 全6回

②初校校正 原稿の確認、修正、レイアウトなどの最終確認作業。

4/21、5/28、6/24、7/22、8/28、9/22、10/30、11/24、12/22、

1/26、2/23、3/23

全12回

(2) その他

対面での会議 3/21

組織部

1. 体制

部長: 有馬富江 副部長: 井桁洋子・岡田修 会計: 青木房子

部員: 岩崎幣介・江口祐子・金子晶子・小林圭子・前川信・丸山由美子

2. 活動報告

実施日	内容	場所	参加者数
4月10日	部会	東京都障害者福祉会館	10
4月30日	ネットワークニュース118号発行		
5月8日	部会	オンライン	8
6月5日	部会	オンライン	9
6月5日	地域懇談会東部	東京都障害者福祉会館	中止
7月11日	部会	国分寺労政会館	9
7月11日	地域懇談会西部	国分寺労政会館	17
8月6日	ネットワークニュース119号発行		
8月7日	部会	オンライン	9
9月11日	部会	オンライン	11
10月9日	部会	東京都障害者福祉会館	7
10月24日	協会例会担当 「新入会員説明&交流会」	東京都福祉保健会館とオンラインのハイブリッド開催	17
10月29日	ネットワークニュース120号発行		
11月13日	部会	東京都障害者福祉会館	8
12月11日	部会	東京都障害者福祉会館	7
1月8日	部会	東京都障害者福祉会館	8
1月28日	ネットワークニュース121号発行		
1月29日	地域コミュニケーション啓発講座 講師: 宇田川芳江氏	オンライン	60
2月12日	部会	オンライン	9
3月12日	部会	東京都障害者福祉会館	8

実年部

1. 体制

部長: 関根一喜 副部長: 中村麻子 会計: 金森滯子 部員: なし

2. 活動報告

実施日	内容	場所	参加者数
4月1日	定例役員会	東京都障害者福祉会館	3
4月23日	手話講座・手話をもう一度	東京都障害者福祉会館	20
5月6日	定例役員会	東京都障害者福祉会館	中止
6月3日	定例役員会	東京都障害者福祉会館	中止
6月18日	本土寺・紫陽花見物とランチ	千葉県松戸市	中止
7月1日	定例役員会	東京都障害者福祉会館	3
7月16日	DVD上映 ひとりも取り残さないために	東京都障害者福祉会館	中止
8月5日	定例役員会	東京都障害者福祉会館	中止
9月2日	定例役員会	東京都障害者福祉会館	3
9月17日	500万本の曼珠沙華見物とランチ	埼玉県	中止
10月7日	定例役員会	東京都障害者福祉会館	中止
10月15日	読話講座	東京都障害者福祉会館	13
11月4日	定例役員会	東京都障害者福祉会館	3
11月19日	防災クイズ・東京の島々のご案内	東京都障害者福祉会館	12
12月2日	定例役員会	東京都障害者福祉会館	中止
1月6日	定例役員会	東京都障害者福祉会館	3
1月21日	本土寺初詣と会席ランチ	千葉県松戸市	中止
2月3日	定例役員会	東京都障害者福祉会館	中止
2月18日	観梅 梅を向いて歩こう	埼玉県入間郡越生町	中止
3月3日	定例役員会	東京都障害者福祉会館	3
3月18日	防災・減災 聞いて下さい、聞かせて下さい	東京都障害者福祉会館	中止

女性部

1. 体制

部長: 明田美奈子 総務: 原島美江 会計: 今井初恵 記録: 高田香苗

部員: 青木知子・今井節子・大江千枝・寺田由紀子・橋爪由利・峯元弘子・渡辺江美

2. 活動報告

実施日	内容	場所	参加者数
4月1日	部会	東京都障害者福祉会館 C1	4
4月29日	部会		中止
5月1日	5月企画「押し花」		中止
6月3日	部会		中止
7月1日	部会		中止
7月5日	部会	東京都障害者福祉会館 C1	2
7月18日	全難聴女性部 県部長会議・総会	オンライン	1
7月25日	協会例会担当		中止
8月5日	部会		中止
9月2日	部会		中止
9月4日	9月企画「役立つ女性のための防災」		中止
9月13日	部会	大田区サポートセンター	3
9月16日	部会		中止

10月2日	10月企画「押し花アート」	東京都障害者福祉会館 C1・2	13
11月4日	部会		中止
11月6日	11月企画「屋外散策」		中止
12月2日	部会	東京都障害者福祉会館 C1	3
12月4日	12月企画「クリスマスツリー作り」	東京都障害者福祉会館	13
1月10日	部会	大田区サポートセンター	3
2月3日	部会		中止
2月5日	2月企画「筆談ボード作り」		中止
3月3日	部会	東京都障害者福祉会館 C1	4

■ 青年部（休部）

■ 文化部

【手話サークル 三田昼】

1. 体制 代表:中村麻子 副代表:内藤淑 会計:加藤道子・川村恵子 総務:國田恵子・石川徳衛
会員数:45名
2. 活動日時 毎月第2金曜日・第2土曜日 13時30分～15時
毎月第4土曜日 10時～11時30分
新型コロナウイルス感染症の拡大のため、少人数3グループ制、月1回のみの短縮学習で実施
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 五十嵐郁子氏
5. 活動報告 ・手話学習会は4月・10月・11月は3回実施。1月は8日のみ実施。
・12月クリスマス交流会(五十嵐講師考案の手話ゲーム・クリスマスソング・ジャンケン大会等、景品付き)
・「サークル便り」を7月号・8月号・3月号の3回発行。

【手話サークル 三田夜】

1. 体制 代表:笹本直子 副代表:渡辺美恵子 総務:鍛冶聡 会計:山本慶子 監査:中角淳子
会員数:21名
2. 活動日時 毎月第1・第3土曜日 18時～20時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 宮本正明氏 伊勢正子氏
5. 活動報告 サークル活動全24回の活動予定中、手話勉強会実施は13回(Zoom含む)、新型コロナウイルスによる休会は11回。予定の過半数サークル活動実施に至れたのは、ただただ皆さんの手話を忘れたくないという熱い思いの賜物であり、役員一同大変感謝している。またこのコロナを嘆くばかりでなく、あえてチャンスと捉えてチャレンジしたZoom学習会実施も一つの大きな成果であったと思う。

【多摩手話サークル】

1. 体制 代表:牧本恵美子 副代表:志村瞳 会計:金子キミ子・奥島和子 会員数:18名
2. 活動日時 毎月第2・第4木曜日 13時30分～15時30分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター(代替会場 国分寺労政会館)
4. 講師 永井邦子氏
5. 活動報告 ・講師学習日:10/7、11/11、12/17
・休会:4月～9月(8月は夏休み)・1月～3月休会。
・毎月、サークル会員に声かけを実施。

【多摩火曜手話サークル】

1. 体制 代表:小島敦子 会計:斉藤南海子 庶務:新井京子 総務:大堀亮子・渋谷靖子 会員数:22名
2. 活動日時 毎月第1・第3火曜日 13時30分～15時30分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター他
4. 講師 真藤千枝氏
5. 活動報告 学習日:4/6(総会)、4/20、10/5、10/19、11/2、11/16、12/7、12/21(クリスマス会)、1/18
(年間活動予定18回中9回実施)
今年度も会場の予約ができず、立川会場で行いました。講師学習は6回。コロナに関する手話やオリンピック競技名などの手話で豊かな表現方法を学びました。自習は1回。手話の多様性について学びました。クリスマス会では新型コロナウイルス感染防止に配慮しつつ会員間の交流を楽しみました。

【三田絵手紙サークル】

1. 体制 代表:堀川すみれ 副代表:木村享子 会計:宮脇百合子 会員数:12名
2. 活動日時 毎月第2木曜日 13時30分～16時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 石井幸子氏(日本絵手紙協会講師)
5. 活動報告 コロナ禍でなかなか活動はできませんでしたが、それでも4回実施できました。講師の課題にそり、講師のアドバイスを受けながら楽しく学習いたしました。

【生け花教室】

1. 体制 代表:飯野堯子 副代表:中村久実子 会計:高山美穂 会員数:6名
2. 活動日時 毎月第1水曜日
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 飯野理堯氏
5. 活動報告 コロナ禍でお稽古ができない状況の中、感染人数が落ち着いた月に数回お稽古をしましたが、花展もすべて中止になりお花に触れることが少ない年でした。

【昼の読話サークル】

1. 体制 代表:須合誠子 会計:岩淵悠子 副会計:清水智恵子 委員:須合誠子 会員数:11名
2. 活動日時 毎月第1・第4水曜日 14時～16時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. アドバイザー 三宅初穂氏
5. 活動報告 4/7(7)、6/23(7)、7/7(7)、7/28(7)、10/6(10)、10/27(6)、11/3(10)、11/24(10)、12/1(8)、1/5(9)、3/23(9) *()内は参加者数
休会は新型コロナウイルス感染症による東京都の緊急事態宣言、まん延防止重点措置に従いました。休みが続くなかでも学習日には皆さんの出席率がよかったです。

【多摩月曜手話サークル】

1. 体制 代表:石川千鶴 副代表:山田恵美子 会計:芦川君代 会員数:11名
2. 活動日時 毎月第1・第3月曜日 13時30分～15時30分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター・Zoom
4. 講師 田中陽子氏
5. 活動報告 ・講師指導:実施なし
・Zoom おしゃべり会:4/5、5/10、6/7、7/5、8/2、9/6、10/4、11/1、12/6、1/17、2/7、3/7
・総会:書面決議